

3 学校支援訪問研修

1	理科実験・観察訪問研修	校種	幼	⓪	中	高	⓪
---	-------------	----	---	---	---	---	---

1 趣 旨

小学校・義務教育学校（前期課程）教員の理科の指導力の向上と、理科教育の振興を図る。

2 主 催（主 管）

富山県教育委員会

（富山県総合教育センター科学情報部、市町教育センター、富山県小学校教育研究会理科部会）

3 期日・会場

- ・サイエンスカー訪問校・実施機関・団体が希望する日
 授業中は原則として15:00～17:00の間の1時間程度
 夏季休業中は2時間程度
- ・会場は、サイエンスカー訪問校（理科室等）・実施機関・団体が希望する場所

4 対 象

教員（公、私、国）

5 指導者

富山県総合教育センター科学情報部職員

6 申込要領

- ・市町教育センターや小学校教育研究会等は、様式3で富山県総合教育センター科学情報部へ直接申し込む。
- ・小学校・義務教育学校（前）が研修を希望する場合は、市町教育センターに連絡し、市町教育センターが富山県総合教育センター科学情報部へ申し込む。
- ・サイエンスカー訪問校は、4月に関係学校へ別途配布する申込書で富山県総合教育センター科学情報部へ直接申し込む。

2	情報教育訪問研修	校種	幼	⓪	⓪	⓪	⓪
---	----------	----	---	---	---	---	---

1 趣 旨

情報教育に関する指導力の向上を図るため、各学校等における研修を支援し、その活性化に資する。

2 主 催（主 管）

富山県教育委員会（富山県総合教育センター科学情報部）

3 期日・会場

- ・富山県総合教育センター職員が訪問可能な日で学校等が希望する日。ただし、希望日が重なった場合は調整する。時間帯は、学校等が希望する時間帯とする（1～2時間程度）。
- ・会場は、研修の内容に応じて学校等で設定された場所とする。

4 対 象

教職員（公、私、国）

※校長等を責任者とする教育関係団体も対象とする。

5 指導者

富山県総合教育センター科学情報部職員

6 申込要領

様式3で富山県総合教育センター科学情報部へ直接申し込む。

7 研修テーマ

事前打合せで研修テーマを決め、申請する。

（テーマの例）

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・授業におけるICT活用 ・1人1台端末を使った授業実践 ・教育用クラウドプラットフォームの活用 ・プログラミング教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーション等のスキル研修 ・著作権 ・情報モラル、ネットワーク社会で求められるルール ・情報セキュリティ |
|--|---|

※詳細については、訪問校決定後に打合せをし、調整する。

3	教育相談訪問研修 (学校・サテライト)	校種	(幼) (小) (中) 市町教育センター 等の各種教育団体	(高) (特) 小中高教研等
---	------------------------	----	-------------------------------------	-------------------

1 趣 旨

- ・学校の要望に応じて、教育相談や生徒指導に関する研修を実施し、指導力の向上に資する。
- ・市町教育センター等の要望に応じて、教育相談や生徒指導、特別支援教育等に関する研修を実施し、指導力の向上に資する。

2 主催（主管）

富山県教育委員会（富山県総合教育センター教育相談部）

3 期日・会場

期日は、富山県総合教育センター職員が訪問可能で、学校・教育機関・各種教育団体が希望する日
会場は、各学校、市町教育センター等

4 対 象

学校：教職員（公、私、国）

サテライト：市町教育センター、小・中・高教研等の各種教育団体が開催する教職員対象研修会

5 指導者

富山県総合教育センター教育相談部職員

6 申込要領

事前に電話で日時、内容を相談の上、様式4で教育相談部へ直接申し込む。

7 研修内容（学校等のニーズに応じて研修内容、研修時間を設定）

○教育相談や生徒指導に関する研修

- ・児童生徒理解とその対応
- ・児童生徒が抱える問題から学ぶ事例検討
- ・チームによる支援を促進するエピソードプロセスを用いたケース会議
- ・教育相談部で相談を受けている児童生徒についてのケース会議

○児童生徒の人間関係にはたらく発達促進的・開発的な育成プログラム研修

- ・ソーシャルスキル・トレーニング
 - ・ストレスマネジメント教育
 - ・アサーション・トレーニング
 - ・対人関係ゲーム
 - ・セルフ・エモーション・アプローチ — 自分自身の感じ方から自己理解を促すワーク —
- ※いくつかの育成プログラムを組み合わせるなど、詳しい内容については相談の上、実施

○教師のためのメンタルヘルスに関する研修

- ・自分も相手も尊重しよう —アサーティブな考え方と自己表現—
- ・みんなで知恵を出し合おう —インシデント・プロセス法を通して—
- ・やわらかく考えよう —考え方の「くせ」を見つけて心を楽に—
- ・自分の気持ちを話そう —グループ活動でふれあいと自己発見—
- ・あたたかくやりとりしよう —ソーシャルスキルを意識して—

○特別支援教育に関する内容

- ・障害の理解や対応に関する講座
- ・実態把握や指導目標設定の演習
- ・事例検討

※市町教育センター、小・中・高教研等の各種教育団体が開催する教職員対象研修会が対象